2020年12月期 第2四半期
決算説明資料

協和キリン株式会社

Kyowa KIRIN

アジェンダ

Q2財務レビュー＆業績予想の修正
R&Dレビュー
ビジネストピックス

代表取締役社長　宮本昌志

Q&A

代表取締役社長　宮本昌志
執行役員 財務経理部長　川口元彦
執行役員 研究開発本部長　鳥居義史
執行役員 製品戦略企画部長　須藤友浩

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画など、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報や予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料は、投資家の皆様に向けて情報を提供することを目的としたものであり、内容には医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

Q2財務レビュー＆業績予想の修正

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

Q2決算サマリー

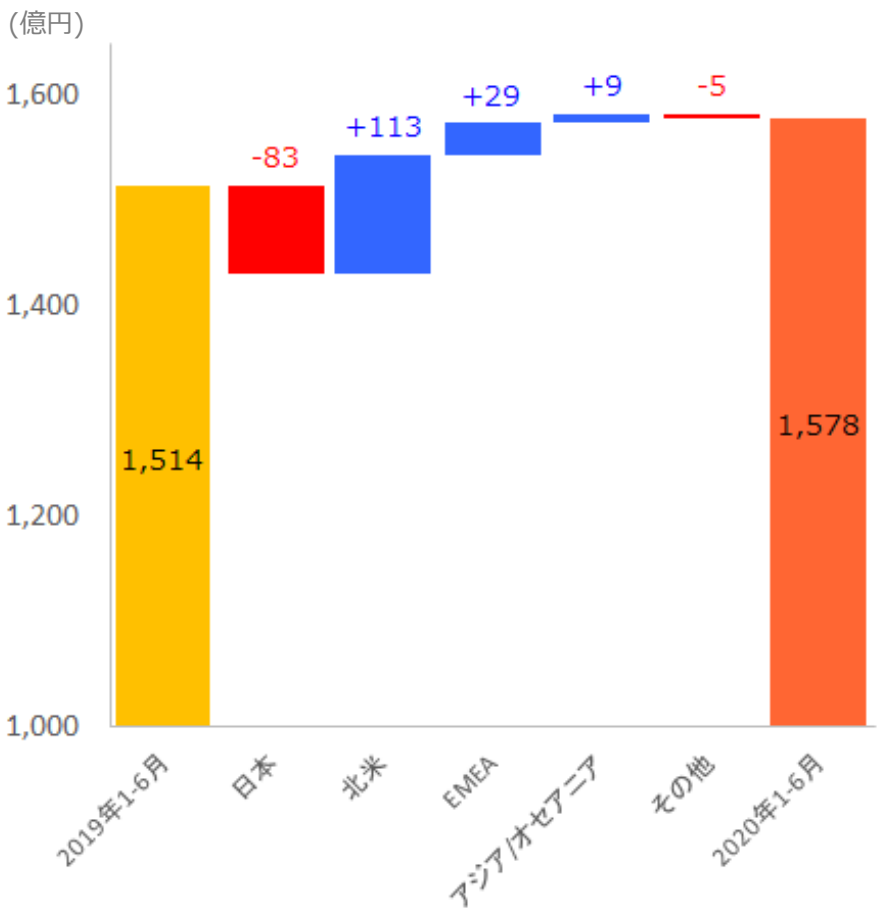
(単位は億円、単位未満四捨五入)

	2019年 Q2実績	2020年 Q2実績	増減 (率)	2020年 修正予想	進捗率
売上収益 [海外売上比率]	1,514 [37%]	1,578 [46%]	+64 (+4%)	3,270→ 3,130 [47%]	48%→ 50%
売上総利益 [売上総利益率]	1,128 [74%]	1,169 [74%]	+41 (+4%)	2,500→ 2,360 [75%]	47%→ 50%
コア営業利益 [コア営業利益率]	322 [21%]	345 [22%]	+23 (+7%)	650→ 600 [19%]	53%→ 57%
継続事業からの 四半期利益	187	278	+91 (+49%)	490→ 440	57%→ 63%
非継続事業からの 四半期利益	294	—	-294 (-100%)	—	—
四半期利益	481	278	-203 (-42%)	490→ 440	57%→ 63%

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

前年対比分析～売上収益～

売上収益 +64億円
(うち為替 -18億円)



- **日本 -83億円**
  - ロミプレート(適応拡大)、ジーラスタ、リツキシマブBSが伸長も、ネスプ(AGへの切り替え)やパタノール・アレロック(花粉飛散量減少・新型コロナ影響*)の減収、'19年10月・'20年4月の薬価改定影響等により減収。

    *受診抑制・外出自粛・マスク着用等

- **北米 +113億円 (うち為替-1億円)**
  - CrysvitaおよびNourianzが増収。Poteligeoは新型コロナ影響を受け前年並み。

- **EMEA +29億円 (うち為替-11億円)**
  - Crysvitaの増収に加え、MoventigやPecfentも微増。

- **アジア/オセアニア +9億円 (うち為替-6億円)**
  - 引き続き中国のRegparaが好調。

- **その他 -5億円 (うち為替-1億円)**

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

主要アイテムの売上収益(日本)

(単位は億円、単位未満四捨五入)

製品名など	2019年 Q2実績	2020年 Q2実績	前年比	増減要因	2020年 修正予想	進捗率
ネスプ＋AG*	256	146	-110 (-43%)	ネスプAG 2019.8発売 バイオシミラーの市場浸透	347→ 289	50%
ネスプ	256	22	-234 (-91%)		40→ 46	48%
ネスプAG	–	124	+124		307→ 244	51%
レグパラ	38	20	-18 (-48%)	オルケディアへの切替	32→ 33	60%
オルケディア	30	43	+12 (+41%)	着実な市場浸透	101→ 95	45%
ジーラスタ	115	128	+13 (+11%)	市場拡大	281→ 276	46%
ポテリジオ	10	10	+0 (+2%)		20→ 20	49%
リツキシマブBS	42	54	+12 (+30%)	着実な市場浸透	101→ 114	47%
ロミプレート	16	41	+24 (+148%)	2019.6適応拡大	72→ 74	55%
アレロック	64	49	-16 (-25%)	花粉飛散量の減少 ・新型コロナ影響 (受診抑制・外出自粛・マスク着用等)	83→ 83	59%
パタノール	99	71	-28 (-28%)		95→ 98	73%
ノウリアスト	48	46	-2 (-3%)	新型コロナ影響 (受診抑制等)	105→ 99	47%
ハルロピ	–	2	+2	2019.12発売	19→ 11	22%
クリースビータ	–	13	+13	2019.12発売	35→ 35	37%
技術収入	17	10	-6 (-37%)		37→ 35	30%

＊ 正式名はダルベポエチン アルファ注シリンジ「KKF」。製造販売元：協和キリンフロンティア株式会社、販売元：協和キリン株式会社。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

主要アイテムの売上収益(海外)

(単位は億円、単位未満四捨五入)

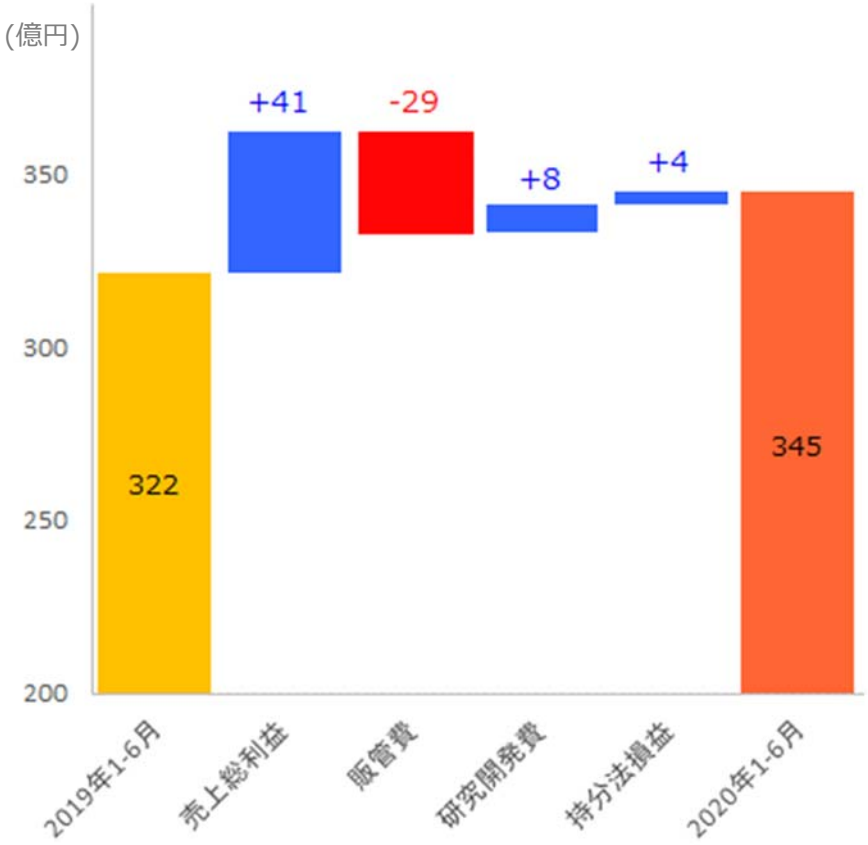
製品名など	2019年 Q2実績	2020年 Q2実績	前年比	増減要因	2020年 修正予想	進捗率
Crysvita*1	134	247	+114 (+85%)	着実な市場浸透	566→ 511	48%
北米	99	191	+93 (+95%)			
EMEA	35	56	+20 (+58%)			
Poteligeo	54	54	-0 (-1%)	新型コロナ影響 (投与サイクル延長)	143→ 100	54%
Nourianz	–	10	+10	2019.10発売	28→ 26	37%
Abstral	58	58	-0 (-1%)		90→ 97	60%
Regpara	24	39	+15 (+60%)	2018.10 中国NEDL*2収載	73→ 74	52%
技術収入	52	70	+18 (+34%)		188→ 183	38%
ベンラリズマブロイヤルティ*3	38	52	+14 (+38%)	2018年発売		

*1 上市国(2020年6月末現在、南米除く):
アメリカ、カナダ、ドイツ、オランダ、ルクセンブルグ、イングランド、ウェールズ、北アイルランド、スロバキア、スウェーデン、イスラエル、UAE、チェコ、デンマーク、イタリア、日本、ノルウェー、バーレーン、スコットランド、オマーン
*2 National Essential Drug List
*3 AstraZeneca社が販売するFasenraの売上ロイヤルティ(当社独自の見積もりを含む)。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

前年対比分析～コア営業利益～

コア営業利益 +23億円
(うち為替 -8億円)



- **売上総利益 +41億円 (うち為替-15億円)**
  - 売上増加に伴う増益。

- **販管費 -29億円 (うち為替+7億円)**
  - 欧米での販売費および上市準備費用が増加。
    ※Crysvitaの北米プロフィットシェア費用を含む。

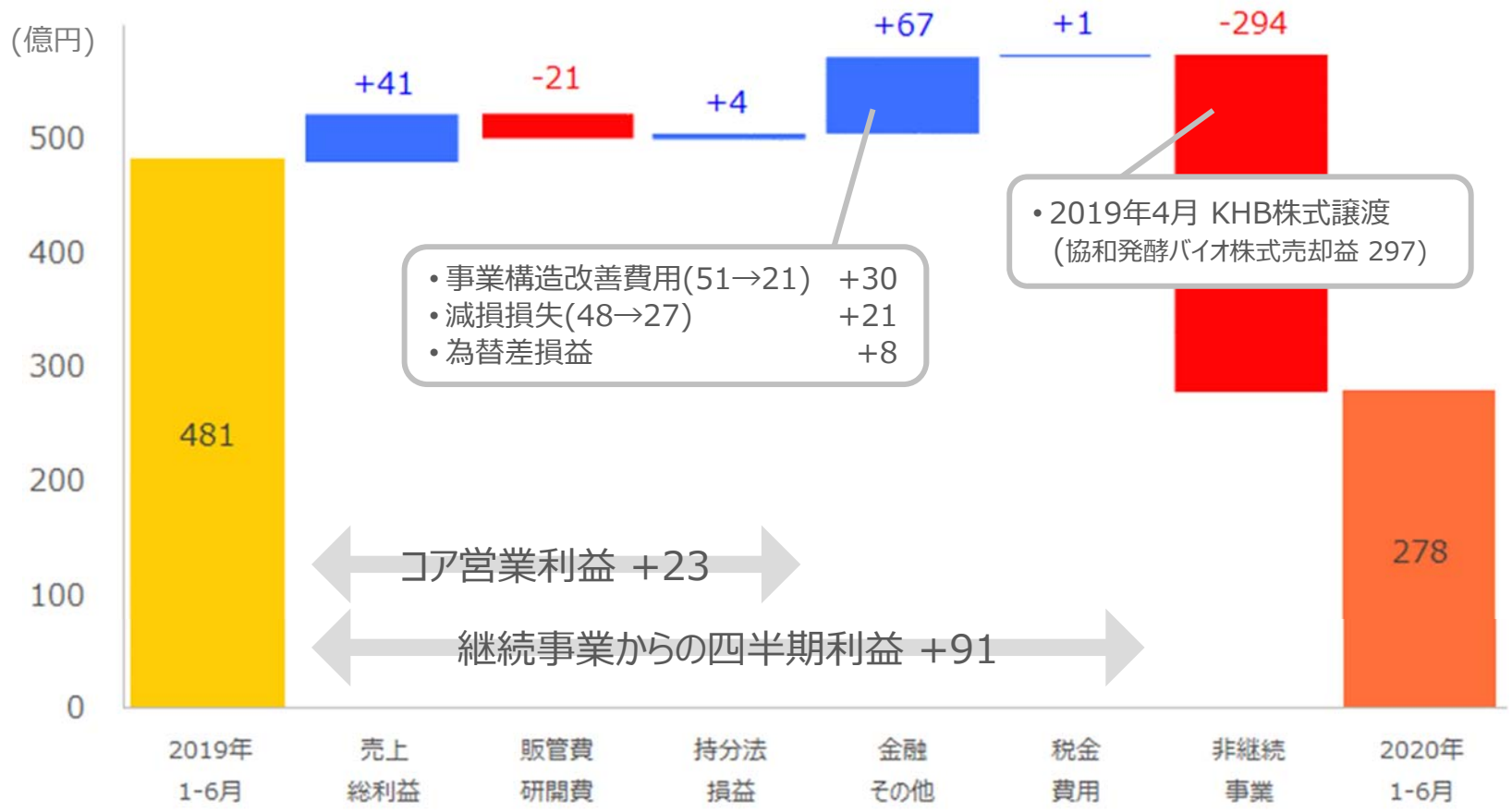
- **研究開発費 +8億円 (うち為替+1億円)**

- **持分法投資損益 +4億円**
  - Hulioの売上伸長等により。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

前年対比分析～四半期利益～

四半期利益(1-6月) -203億円



© Kyowa Kirin Co., Ltd.

2020年度 修正業績予想サマリー

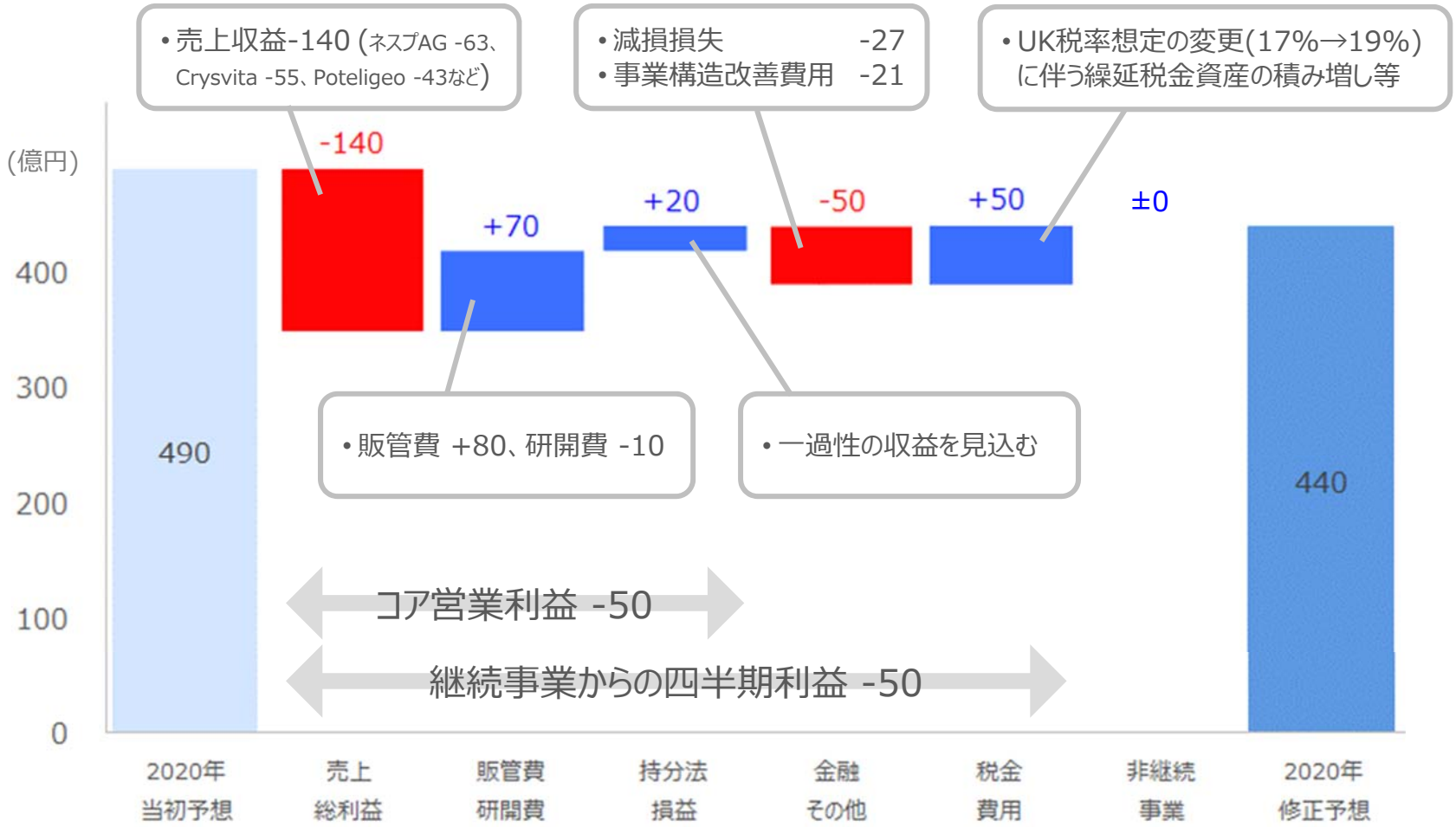
(単位は億円、単位未満四捨五入)

	2019年 実績	2020年 年初予想	2020年 修正予想	増減 (率)
売上収益 [海外売上比率]	3,058 [39%]	3,270 [47%]	3,130 [47%]	-140 (-4%)
売上総利益 [売上総利益率]	2,262 [74%]	2,500 [76%]	2,360 [75%]	-140 (-6%)
コア営業利益 [コア営業利益率]	594 [19%]	650 [20%]	600 [19%]	-50 (-8%)
継続事業からの 当期利益	377	490	440	-50 (-10%)
非継続事業からの 当期利益	294	–	–	–
当期利益	671	490	440	-50 (-10%)

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

新旧業績予想対比分析

当期利益(1-12月) -50億円



© Kyowa Kirin Co., Ltd.

R&Dレビュー

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

2020年第2四半期のトピックス

- KRN23のXLHを適応症とした販売承認の取得 (香港:4月)
- ME-401の濾胞性リンパ腫およびその他のB細胞悪性腫瘍を対象とした
  フェーズ1b試験データの発表 (米国臨床腫瘍学会:5月)
- KHK7791の血液透析施行中の高リン血症を対象とした国内フェーズ2試験
  データの発表 (欧州腎臓学会議／欧州透析移植学会議:6月)
- KRN321の透析施行中の腎性貧血を適応症とした販売承認の取得 (中国:6月)
- KHK4827の乾癬を適応症とした販売承認の承認 (中国:6月)
- KRN23の腫瘍性骨軟化症を適応症とした追加適応承認 (米国:6月)

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

ME-401：B細胞悪性腫瘍を対象としたフェーズ1b試験の結果

ASCO 2020
ClinicalTrials.gov Identifier: NCT02914938

■ 治療：間歇投与法によるME-401単剤またはリツキシマブとの併用療法

Daily dosing x2 cycles → Daily x1 week → No therapy x3 weeks

Cycles 1 and 2 | Intermittent Schedule on Cycles ≥3

■ 全奏効率および有害事象

Diagnosis	No. Evaluable Patients	ORR n (%)
FL	**36**	**30 (83%)**
By treatment group		
monotherapy	17	13 (76%)
Combo with rituximab	19	17 (89%)
CLL/SLL	**9**	**8 (89%)**
By treatment group		
ME-401 monotherapy	3	3 (100%)
ME-401 + rituximab	6	5 (83%)

Adverse Event of Special Interest (AESI)	Grade ≥ 3
Diarrhea or colitis	
Diarrhea	2 (3.5%)
Colitis	2 (3.5%)
Rash, all types	1 (1.8%)
ALT/AST elevation	1 (1.8%)
Stomatitis	0
Pneumonia/Infectious pneumonitis	0*
Non-Infectious pneumonitis	1 (1.8%)

間歇投与法により、高い奏効率及び概ね良好な忍容性を示した

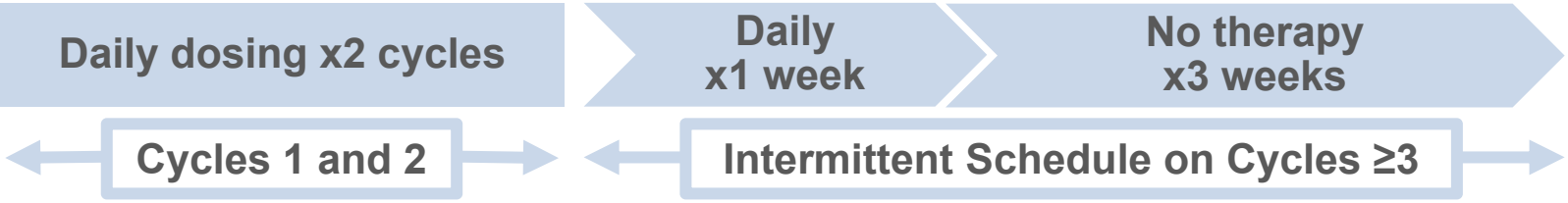
*1 patient with grade 5 COVID-19 pneumonia in Cycle 15.
1 cycle: 28 days, ORR: 全奏効率, FL: 濾胞性リンパ腫, CLL/SLL:慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

ME-401：再発/難治性の濾胞性リンパ腫患者を対象としたフェーズ2 TIDAL試験

ClinicalTrials.gov Identifier: NCT03768505

- 被験者：少なくとも2回の全身治療を受けた再発/難治性の濾胞性リンパ腫患者
- 治療：ME-401 間歇投与法による単剤療法



- 目標症例数：120例
- 治験実施国：米国、欧州、オセアニア、韓国、台湾
- 主要評価項目：全奏効率
- 米国での迅速承認のための主要な根拠資料として、米国食品医薬品局へ提出予定

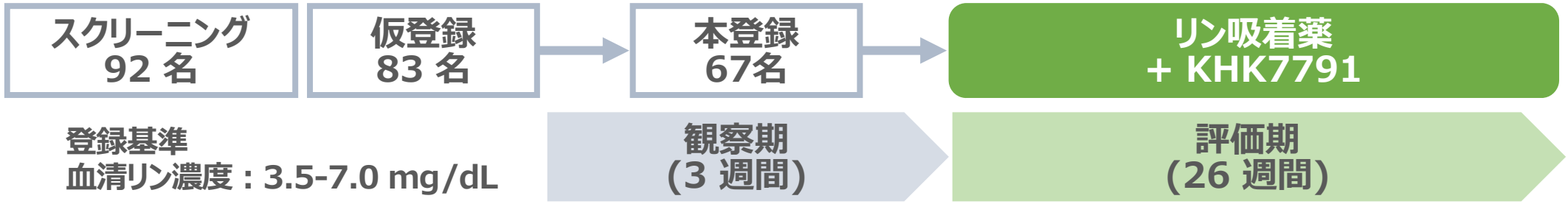
TIDAL (**Tri**als of PI3K **D**elt**A** in Non-Hodgkin's **L**ymphoma)

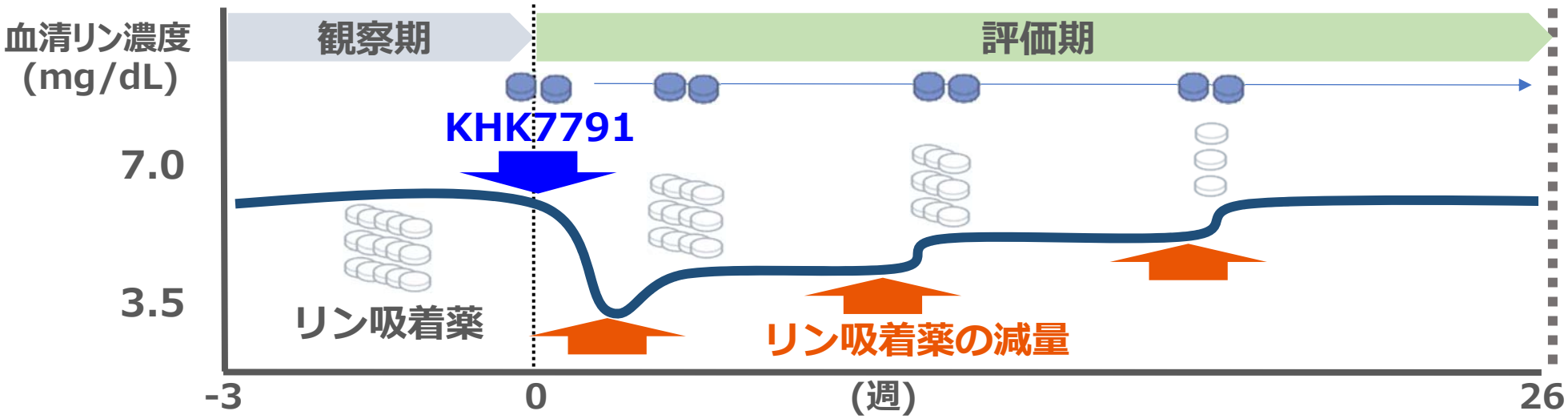
© Kyowa Kirin Co., Ltd.

KHK7791：Ph2試験（リン吸着薬からの切替え試験）デザイン

ClinicalTrials.gov Identifier: NCT03831607

■ 血液透析施行中の高リン血症患者を対象とした非盲検単群リン吸着薬切替え試験





■ 主要評価項目：26週時点のリン吸着薬およびKHK7791の総錠数が、ベースラインから30%低下した被験者の割合

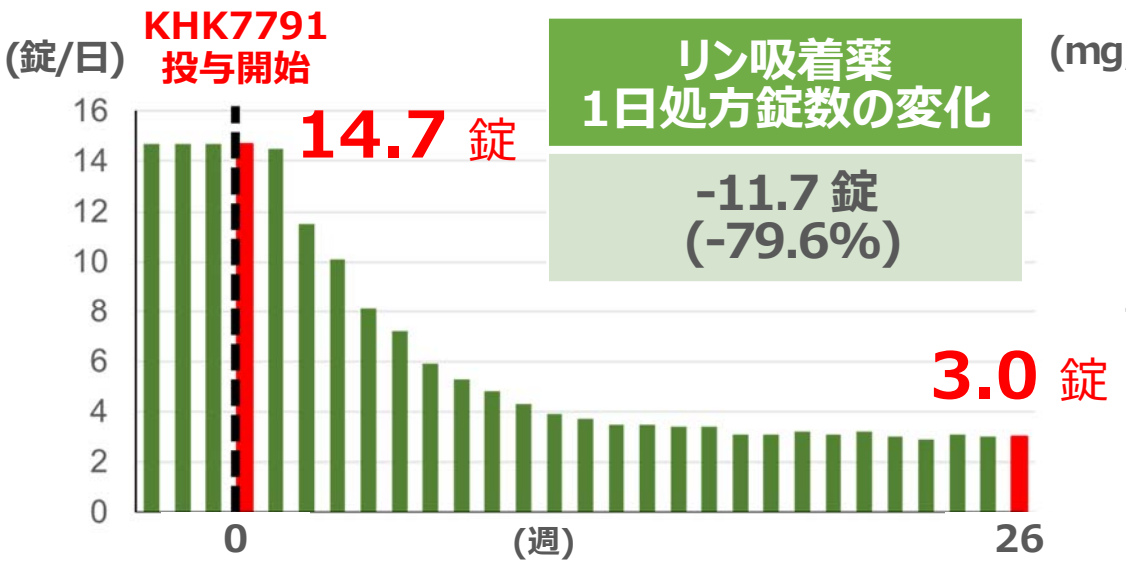
© Kyowa Kirin Co., Ltd.

KHK7791：Ph2試験（リン吸着薬からの切替え試験）結果

■ 主要評価項目

	達成率	*P* value [95%信頼区間]
30% 減少	71.6% (48/67)	<0.001 [59.3, 82.0]

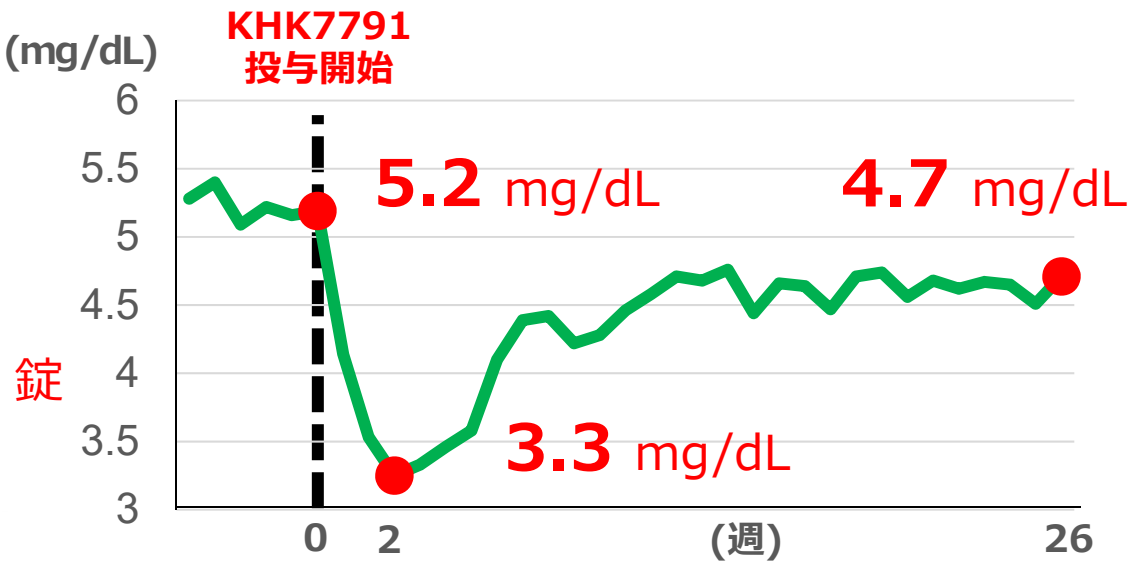
■ 1人あたりのリン吸着薬1日処方錠数



リン吸着薬 1日処方錠数の変化

-11.7 錠 (-79.6%)

■ 血清リン濃度の推移



約7割の被験者において、ベースライン時と比べてリン吸着薬の服薬錠数が30%以上減少した

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

2020年7月以降のトピックス

・KRN23の成人XLHを適応症とした販売承認に対して欧州医薬品評価委員会(CHMP) より肯定的な見解を取得 (欧州:7月)

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

ビジネストピックス

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

COVID-19の事業に対する影響と対策

- サプライチェーン
  - ３-4月はEUを中心に物流が滞ったが、現在は問題なし
  - 原料の輸入供給遅延は発生していない
  - 物流費が上昇しており、影響を受けている

- 各リージョンの状況
  - 日本(営業)
    - 原則在宅勤務
    - 製品回収・PV活動・品質情報対応：医療機関の意向に配慮し対応
    - 情報提供活動：必要に応じて電話・メール・Web会議等を活用
  - 北米
    - 7月末まで主要なオフィス拠点は閉鎖・リモートワークなど柔軟な働き方を推奨
  - EMEA
    - 在宅勤務など柔軟な働き方を推奨
    - オフィスでの業務や現場の活動再開に向けて、オンライントレーニングを実施
  - アジア/オセアニア
    - 国ごとに感染状況に合わせて出勤体制等を取り決めている
    - 中国：通常業務に戻ったが、デジタルプロモーションへの移行が促進

- 国内事業の勤務の基本方針：在宅勤務を基本とし、現状が続けば年末まで30%上限の出社制限
- 研究所：感染予防対策を十分に行った上で、研究業務を行っている（出社比率制限は解除、在宅勤務も可能）
- 生産：感染予防対策を十分に行った上で、製造業務を行っている
- 開発：当局のガイダンスを参考に慎重に対応

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

COVID-19に対する取り組み

中国	公益法人南山財団	寄附	3月
日本	国立感染症研究所	原薬提供	3月-４月
EMEA各国	地域の医療システムや患者さんを支援 (スペイン赤十字社など)	寄附	4月
EMEA各国	医療従事者が行うボランティア活動を支援		
米国	AmeriCares*	寄附	4月
シンガポール	シンガポール製薬工業協会を通じて 医療機関への個人用保護具提供	寄附	4月
シンガポール	Agency for Integrated Care（セクター緊急基金）	寄附	
日本	特定非営利活動法人ジャパンハート	寄附	5月

＊支援対象は米国を含めグローバル

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

ビジネス トピックス

6月　菌状息肉腫(MF)およびセザリー症候群(SS)治療剤Poteligeo、欧州で販売を開始

6月　腎性貧血治療剤ダーブロック、国内製造販売承認を取得

6月　ヒト型抗ヒトTNF-αモノクローナル抗体製剤アダリムマブ BS 皮下注「FKB」、
国内製造販売承認を取得

7月　ヒト型抗ヒトTNF-αモノクローナル抗体製剤Hulio、米食品医薬品局(FDA)より
販売承認を取得

7月　抗VEGFヒト化モノクローナル抗体製剤Equidacent、欧州医薬品評価委員会(CHMP)
より承認勧告を受領

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

腎領域のラインナップ・パイプライン（2020年7月時点）

腎機能の低下　慢性腎臓病　ステージの進行

保存期（CKD ステージ 3-5）　透析期

併存・原疾患

- 高血圧：コニール（1991）　コバシル（1998）
- 糖尿病：オングリザ（2013）
- KW-3357　RTA 402

合併症

- 貧血：エスポー（1990）　ネスプ（2007）　ダルベポエチンアルファ「KKF」（2019 by KKF）　ダーブロック（2020予定）
- CKD-MBD：レグパラ（2008）　オルケディア（2018）　ロカルトロール（2001）　フォスブロック（2003）　KHK7791

上市品　開発品

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

Appendix

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

為替関連情報

期中平均為替レート

通貨	2019年 Q2実績	2020年 Q2実績	前年比	2020年 修正予想
米ドル　(USD/円)	110円	109円	-1円	108円
英ポンド (GBP/円)	143円	138円	-5円	135円

2020年度Q2 為替影響額 (前年比)

通貨	売上収益	コア営業利益
米ドル　(USD/円)	-2億円	-1億円
英ポンド (GBP/円)	-11億円	-4億円

2020年度 為替感応度 (修正予想ベース)

通貨	変動	売上収益	コア営業利益
米ドル　(USD/円)	1円高	-8億円	-4億円
英ポンド (GBP/円)	1円高	-3億円	-0億円

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

主なニュースフロー（2020年第1～2四半期）

※ 2020年1月1日～2020年6月30日に発生したイベントを記載しています

時期	一般名 開発コード	適応症	国・地域	概要
1月	Istradefylline KW-6002	パーキンソン病[1]	欧	販売承認申請の受理
2月	Pegfilgrastim KRN125	がん化学療法による発熱性好中球減少症	日	Phase 1 開始
2月	Burosumab KRN23	腫瘍性骨軟化症	米	適応追加申請の受理・優先審査指定
5月	ME-401	濾胞性リンパ腫および その他のB細胞悪性腫瘍	米	Phase 1b データ発表 (ASCO)
6月	Tenapanor KHK7791	血液透析施行中の高リン血症	日	Phase 2 データ発表 (ERA-EDTA)
6月	Burosumab KRN23	腫瘍性骨軟化症	米	適応追加の承認

1: 申請した適応症はウェアリングオフ現象（レボドパ製剤の薬効時間が短縮し、服用後数時間を経過するとその効果が消退する現象）を有する成人パーキンソン病患者におけるレボドパ含有製剤との併用療法

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

主なパイプラインの申請予定

2020年6月30日現在

一般名 開発コード	適応症	国・地域	2020 H1	2020 H2	2021
Brodalumab KHK4827	乾癬	中	★		
Brodalumab KHK4827	乾癬	亜		★	
Brodalumab KHK4827	体軸性脊椎関節炎	日		★	
Brodalumab KHK4827	関節症性乾癬	台	申請	★	
Burosumab[1] KRN23	XLH（成人）	欧		★	
Burosumab KRN23	XLH[2]	亜	★[3]	★	
Burosumab[1] KRN23	腫瘍性骨軟化症	米	★		
Istradefylline KW-6002	パーキンソン病	欧			★
Romiplostim AMG531	既存治療で効果不十分な 再生不良性貧血	台		★	
Romiplostim AMG531	ITP	中			★

1: Ultragenyx社との共同開発
2: 韓国で申請した適応症はFGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症
3: 香港
日:日本、米:米国、欧:欧州、亜:アジア、台:台湾、中:中国

★ 当局による製造販売承認可否の判断が期待される時期
達成
予定

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

主なパイプラインの開発予定

2020年6月30日現在

一般名 開発コード	適応症	国・地域	2020	2021	2022~
Bardoxolone methyl RTA 402	糖尿病性腎臓病	日	Phase 3		
Bleselumab[1] ASKP1240	腎移植患者における 再発性FSGS	米	Phase 2		Phase 3
Entinostat KHK2375	乳癌	日	Phase 2		
Evocalcet KHK7580	SHPT	亜	Phase 3		
KHK4083	アトピー性皮膚炎	日 米 欧	Phase 2		Phase 3
KW-6356	パーキンソン病	日	Phase 2	Phase 3	
Tenapanor KHK7791	透析維持下の高リン血症	日	Phase 2	Phase 3	
ME-401	濾胞性リンパ腫	米 欧 他	Phase 2		
Antithrombin gamma KW-3357	妊娠高血圧腎症	日	Phase 3		
Brodalumab KHK4827	全身性強皮症	日	Phase 3		
Brodalumab KHK4827	掌蹠膿疱症	日	Phase 3		
Mogamulizumab KW-0761	HAM	日	Phase 3		
Pegfilgrastim KRN125	造血幹細胞の 末梢血への動員	日	Phase 2		
Romiplostim AMG531	免疫抑制療法未治療の 再生不良性貧血	日 亜	Phase 2/3		

1: アステラス製薬社との共同開発
日:日本、米:米国、欧:欧州、亜:アジア、韓:韓国、中:中国

実施中
予定

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

推定発症例数または罹患症例数

疾患	国/地域	推定発症例数 (i) または 推定罹患症例数 (p)	出典
ATL	Japan	i: 1,150 per year p: 2,000	i: 本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策 平成21年度総括研究報告書 (山口一成、平成22年3月) p: 厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
ATL	U.S.	i: 180 per year	US Lymphoid Malignancy Statistics by World Health Organization Subtypes. (Lauren R et al., CA Cancer J Clin., 2016)
PTCL	Japan	p: 1,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
CTCL	Japan	p: 2,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
CTCL	U.S.	i: 1,500 per year	SEER Data (2001-2007)
XLH	Japan	p: 5,000 (adult), 1,000 (ped.)	本疾患の推定発症率（20,000人に一人程度）に基づく概算; Nationwide survey of fibroblast growth factor 23 (FGF23)-related hypophosphatemic diseases in Japan: prevalence, biochemical data and treatment. (Endo I et al., Endocr J., 2015)
XLH	Europe	p: 12,000 (adult), 3,000 (ped.)	本疾患の推定発症率（20,000人に一人程度）に基づく概算
XLH	U.S.	p: 12,000 (adult), 3,000 (ped.)	本疾患の推定発症率（20,000人に一人程度）に基づく概算; New perspectives on the biology and treatment of X-linked hypophosphatemic rickets. (Carpenter TO, Pediatr Clin North Am., 1997)
TIO/ENS	Japan	p: 30 (TIO)	2010年 厚生労働省 ホルモン受容機構異常に関する疫学調査研究
TIO/ENS	U.S.	p: 500 - 1,000	Ultragenyx社調査
PD	Japan	p: 162,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
PD	U.S.	p: more than 570,000	Decision Resources社調査
AD	U.S.	p: 9,000,000 - 17,000,000	Decision Resources社 および Global Data社調査
CKD	Japan	p: 13,300,000	日本腎臓学会編 CKD診療ガイド2012
AA	Japan	i: 1,000 per year	難病情報センターホームページ（2020年7月現在）から引用 http://www.nanbyou.or.jp/entry/106
ITP	Japan	i: 3,000 per year	難病情報センターホームページ（2020年7月現在）から引用 http://www.nanbyou.or.jp/entry/157
HAM	Japan	i: 30 per year p: 3,000 - 3,600	HTLV-1関連脊髄症（HAM）診療ガイドライン2019
FL	U.S.	i: 15,000 per year	Cancer.net（2020年7月現在）から引用 https://www.cancer.net/

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

Crysvita ~ウルトラジェニクス社とのコラボレーション~

	協和キリングループ	ウルトラジェニクス
アメリカ/カナダ	● 売上計上 ● 上市後5年間、50/50の利益シェア ● 上市後5年以降、20%台のロイヤルティ支払い	● 上市後5年間、50/50の利益シェア ● 上市後5年以降、20%台のロイヤルティ受け取り
ヨーロッパ	● 売上計上 ● 10%以下のロイヤルティ支払い	● 10%以下のロイヤルティ受け取り
メキシコ/中南米	● 一桁台前半のロイヤルティ受け取り	● 売上計上 ● 一桁台前半のロイヤルティ支払い
トルコ	● 20%以下のロイヤルティ受け取り ● 将来、販売権を引き継ぐオプションあり	● 売上計上 ● 20%以下のロイヤルティ支払い
日本/アジア/その他地域	● 売上計上	

※全地域において、製品の製造は協和キリンが行う。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

略語集

AA	Aplastic Anemia	再生不良性貧血
AD	Atopic Dermatitis	アトピー性皮膚炎
ATL	Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma	成人T細胞白血病リンパ腫
BS	Biosimilar	バイオ後続品
CKD	Chronic Kidney Disease	慢性腎臓病
CTCL	Cutaneous T-Cell Lymphoma	皮膚T細胞性リンパ腫
DKD	Diabetic Kidney Disease	糖尿病性腎臓病
ENS	Epidermal Nevus Syndrome	表皮母斑症候群
FL	Follicular Lymphoma	濾胞性リンパ腫
FSGS	Focal Segmental Glomerulosclerosis	巣状分節性糸球体硬化症
HAM	HTLV-1 Associated Myelopathy	HTLV-1関連脊髄症
ITP	Idiopathic Thrombocytopenic Purpura	特発性血小板減少性紫斑病
PD	Parkinson’s Disease	パーキンソン病
PHPT	Primary Hyperparathyroidism	原発性副甲状腺機能亢進症
PTCL	Peripheral T-Cell Lymphoma	末梢性T細胞リンパ腫
SHPT	Secondary Hyperparathyroidism	二次性副甲状腺機能亢進症
TIO	Tumor Induced Osteomalacia	腫瘍性骨軟化症
XLH	X-linked Hypophosphatemia	X染色体連鎖性低リン血症

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

～本資料のお問合せ先～

協和キリン株式会社
コーポレートコミュニケーション部 IRグループ
03-5205-7206